

パルティ

2012. 12
VOL.134

特集 人口減少・少子高齢時代の男女共同参画

みんなで変える！vol.2 ソーシャルな働き方を考える …… 2

フェスタ in パルティ 2012 …… 8

とちぎ次世代 人材づくり2012 …… 9

イベント・講座報告 …… 10

本の紹介 …… 13

ちいき情報 …… 13

こんにちは相談ルームです …… 14

こんにちは就職相談です …… 14

講座案内 …… 15

インフォメーション …… 16



特集

人口減少・少子高齢時代の男女共同参画

みんなで

ソーシャルな働き方を考える

変える！ vol.2

～今こそみんなで働き方革命～

人口減少・少子高齢社会が進む現代社会では、孤独な子育てや介護、貧困率の上昇、非正規雇用の増加など、様々な問題が山積しています。私たちが、いろいろな分野で手をかり合って社会のシステムを変えることで、誰もがいきいきと暮らせる未来をつくらないでしょうか？ 私たちが男女共同参画やワークライフバランス、多様性の尊重を進めることが解決の糸口となりそうです。『みんなで変える！』第1回目（前号の133号）では子育てについて考えましたが、今回は、働き方について考えます。

これから働き方・生き方は、 その3

ワークライフバランス！ 家庭と個人に優しい働き方を

現在と未来の社会をデータから考えてみよう！

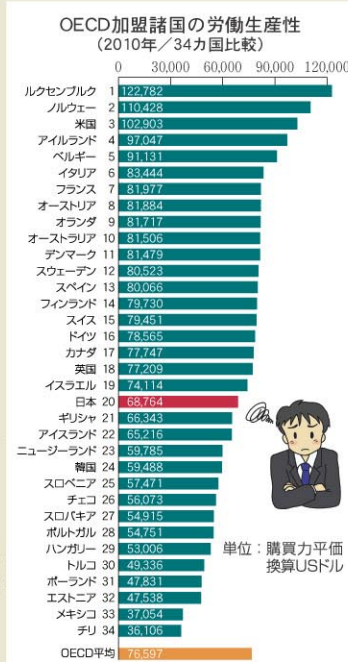
生産性が低い

日本の労働生産性（右図は就業者1人当たり国内総生産と就業1時間当たりの国内総生産）は主要先進7カ国の中で最も低く、OECD平均よりも低い。長時間労働の要因にもなり、夫婦で子育てや介護をする上で大きな問題となっている。

解決するには

短時間で効率よく！

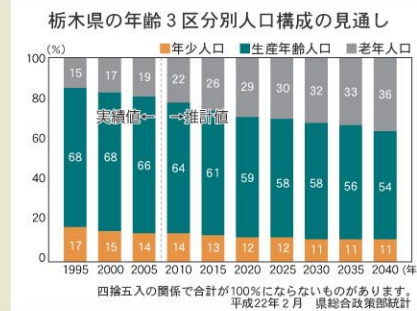
- 例えば
- ★朝メール（30分単位で1日の業務内容を計画。上司にメール）
- ★To Do リストの共有化
- ★会議資料はA4用紙1枚に
- ★残業はしない！
- ★会議時間を30分と決める
- ★チーム体制で仕事の共有化



出所：2011年版「労働生産性の国際比較」より

高齢化が進む

世界に先駆けて高齢化が進む日本では、2040年にはお年寄り1人を大人1.5人で支える時代に！ますます介護休業（暇）を必要とする働き手が増えてくる。



解決するには

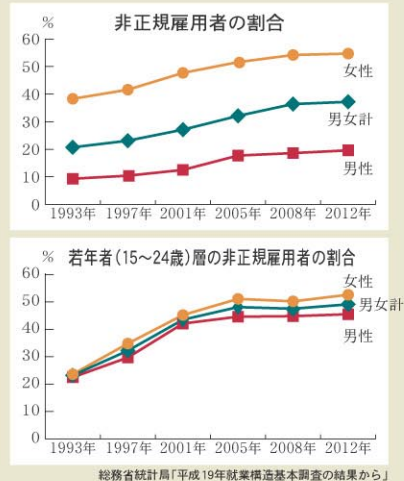
仕事と介護の両立が必要な時代に

- ★これからは管理世代の男性も介護休業が必要に
- ★社員の介護準備セミナー
- ★在宅勤務のためのIT整備など



非正規雇用の増加

先の見通しがきかない不安定な働き方の上に低賃金の非正規雇用は今や労働者の3人に1人。しかも女性と若者の割合が多い。



解決するには

社会システムを変える。同時に個人もできることから始めよう

- ★同一価値労働同一賃金
 - ・同じ内容の仕事なら同じ待遇で
 - ・有期雇用から正社員登用へ
 - ・短時間正社員制度への移行
- ★資格取得や職業スキルの訓練機会
- ★キャリア教育で職業意識を育み、自立の自覚を

など

女性の活躍度が低い

人口減少が続く、このままでは、労働力が不足してしまう。そこで、女性の労働力が重要になってくるが、現在、日本の女性の活躍度は、135カ国中101位。また女性管理職比率はアメリカ43%、フランス39%に対して日本は11%にとどまる（内閣府男女共同参画局「男女共同参画社会の実現を目指して」（H23.3）による）。社会全体で「男は仕事、女は家庭」という役割意識を前提にした働き方を変える必要がある。



解決するには

女性が労働力の担い手に！

- ★女性の雇用・管理職登用の促進（ポジティブ・アクション）
- ★待機児童の解消
- ★企業内保育所、子連れ出勤、病児保育支援、保育ママ制度など保育改革
- ★男性の仕事と育児の両立をすすめる
- ★再就職や女性管理職育成のためのトレーニング
- ★メンター制度で女性管理職増

など

どうして その1

いま働き方を変えなくてはいけないの？

今の働き方事情を見てみよう！

正規雇用、非正規雇用（パート、アルバイト、派遣社員など）など私たちの働き方もさまざまですが、厳しい経済状況の中、働く環境に不安や苦しさを感じている人も多いのではないのでしょうか？ 今、私たちが抱える職場環境の問題点を考えてみましょう。

長時間労働

過労



正社員

地道に働いても昇進・昇給なし。残業、ノルマ…。人員削減で業務量は増えるばかり

社会保障は？



アルバイト

正社員で働きたいけど職がない!! 収入が安定しないので、結婚もできない…

非正規雇用の増加

同一価値労働同一賃金



パート

正社員と同じ仕事内容なのに、賃金が低く、待遇も違う…

男女の賃金格差は先進国一

不安な毎日…



派遣社員

長く働きたいのに、不況では真っ先に「ハケン切り」

保育所不足



子育て中

子育てが一段落したら働きたいけど、子どもを預けて両立できるかしら…

これから その2

安心して働き、安心して暮らせる社会を！

多様な働き方や暮らし方を尊重し、「誰もが安心して働くこと」と「生活すること（子育て、家事、介護、地域活動など）」が両立できる社会づくりが必要です。日本国内でも、育児・介護休業法による短時間勤務制度の改正や女性の活躍促進による経済活性化「働くまでしこ大作戦」などのポジティブ・アクションが行われています。

多様な働き方や暮らし方を尊重するキーワード ディーセント・ワークって何？

「働きがいのある人間らしい仕事」のこと。ディーセントを直訳すると、「適切な」「きちんとした」「まともな」と訳される。グローバル競争の激化や世界的な経済危機のあおりを受け、加速化する雇用危機や所得格差の拡大、過酷な労働環境を強いられる人々の増加に歯止めをかけようと、ILO（国際労働機関）が1999年に提唱した。

「働きがいのある人間らしい仕事」って？

- 働く機会があり、持続可能な生計に足る収入が得られること。
- 男女平等で公正な環境で仕事をする。
- 家庭生活と職業生活が両立でき、安全な職場環境や雇用保険、医療・年金制度などのセーフティーネットが確保され、自己の鍛錬もできること。



日本の企業も取り組んでいます！

■いちばんの財産は人。100%正社員!! 【クロスカンパニー】

アースミュージック&エコロジーなどの衣料品ブランドを展開する会社。ショップのスタッフまで全員正社員。4時間正社員制度や育児や介護で時間に制約ある人も正社員として支援していくしくみをつくる。売上高はこの5年間で4.7倍と成長を続けている。

■子連れ出勤という就業スタイル【モーハウス】

授乳時に肌が露出しない授乳服を製作販売している。つくば市にある本社や東京・青山のショップで子連れ出勤を実現するなど、女性が育児をしながら社会参加ができることを体現している。



フェスタ in パルティ
2012 公開講座

働き方革命 ~あなたが今日から日本を変える方法~

11/11 日

講師：NPO法人フローレンス 代表理事 駒崎 弘樹

病児保育事業に取り組む駒崎弘樹さんを招き、誰もが仕事と子育てが当たり前の日本社会を目指した「働き方」について講演していただきました。

●30代男性の年収がリムムゾーンは300万円台で、10年前より200万円低くなっている

以前は年収500万円台が一番多かったが、現在は300万円台のゾーンが一番多くなっている。共働き家庭が増加する現代、経済的には苦しいが、夫婦二人で働けば日本の平均世帯年収(約500万円)は超えられる。今後は共働き、2馬力で家庭を成り立たせていけば、何があっても安心である。日本の働き方を変えなければならぬ。

●日本の高齢化率は2050年に40.5%に！労働人口も減少

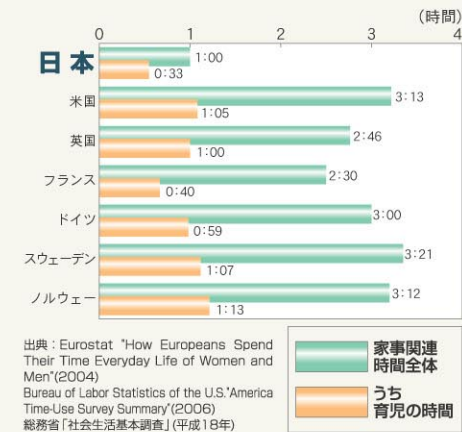
人口における高齢者の割合は、他の諸外国に比べて非常に高い。日本は、2050年に40.5%が高齢者となる。一方、日本の労働人口は2050年には現在の3分の2に。世界最高水準の高齢社会を迎える。高齢者は増えるのに、高齢福祉・医療を支える働き手が減っていくのだ。

●しかし、日本には埋もれた資源である女性という存在がある

女性が先進国並みに働くことで、GDP(国内総生産)は、4%上昇する。過去20年の平均成長率は0.9%。日本は女性が働くことを活かしきれていない。「働かない、働けない女性」が多い。例えば、日本には出産と同時に仕事を辞める女性が6割に達している(北欧では9割もの女性が働き続けることができる)。しかも、子育てが落ち着いた頃の再就職も難しく、非正規労働でしか働けないケースが多い。正社員としての賃金格差も大きい。結婚や出産後の女性が働き続けられ、共働きできるような社会にしていかなければならない。



NPO法人フローレンス 代表理事 駒崎 弘樹 さん



●共働きを当たり前にするということとは、男性の家事と育児への参加も当たり前にすればいい

「6歳未満児のいる夫婦の夫の家事育児時間の国際比較」グラフ左では、日本以外は2〜3時間であるのに対し、日本は1時間(うち育児時間は33分)と短い。日本の危機を招いているのは、男性の働き方や育児不参加に原因があるのではない。男性の家事育児への貢献が妻の育児への意欲や第2子以降への気持ちに深く関わっているというデータもある。男性の育児参加が我が国の少子化問題をも救う。

講師プロフィール

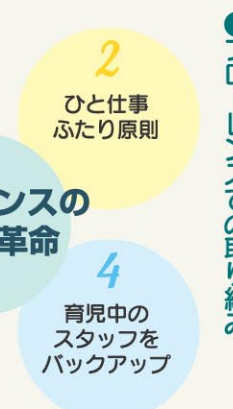
IT企業の学生社長を経て、大学卒業後NPO法人フローレンスを立ち上げる。「誰もが仕事と子育てが当たり前の日本社会を目指して」病児保育事業に取り組む。中小企業の働き方について見直す「ワークライフバランス事業」や育児・子育て支援や男女共同参画などに関して、企業・行政・大学等で講演を多数実施。

①会議では「やること」と「期限」を定める
会議の議事録をその場でプロジェクトに映しながら書く。そして「誰がいつまでに何をやるか(期限)」を見える化したり、参加者は会議に必要なメンバーに絞る。その結果、会議の時間を効率的にすることができている。

②ひと仕事ふたり原則
一つの仕事を2人以上で担当する事で「誰でもできる化」を行っている。例えば、急に休みになっても他に対応できるスタッフがいたり、有給休暇の取得率も上がり、産休育休にも前向きになっている。また、スタッフ同士の育成やマニュアル化も進んでいる。

③勤務の柔軟化
集中系作業は話しかけられると作業が止まってしまう。生産性アップのため、集中作業は在宅勤務を推奨している。個人の状況に合わせて在宅勤務の頻度を決め、日報はメールで管理している。

④育児中のスタッフをバックアップ
子育てをしながら働けるように、「週4日でも正社員・時短制度・朝・午・夜・朝・時間早く出勤・お子様参観制度」などを実施している。



いろいろな苦勞を乗り越えて、働き方革命を成就。働き方を変えると世の中は変わる！

- 働き方革命を実行し、ワークライフバランスの実現された職場を創造することは、企業にとっても「得」
- 働き方を変える事が、日本経済と少子化日本を救う
- あなたが主体となって、今日から働き方を変えて、社会を変えましょう！



ケアプランナーを目指し
働きながら勉強中！

よい人と関わる仕事がしたい！

働きながら
NPOで社会貢献！

充実の時間を過ごしています！



40代・女性

会社員
(医療事務)

学生
(医療系
専門学校)

趣味
(旅行)

昼間は医療事務として働きながら、夜間は専門学校でケアプランナーの勉強をしています。



30代・男性

会社員
(経理)

ボランティア
(NPO)

子育て

会社で経理として働く傍ら、アフター5はNPOで経理を担当しています。自分の専門的なスキルを活かせるため、仕事にやりがいを感じています。

子育て一段落後は
地域の居場所づくり



50代・女性

現在家事や介護の合間をぬって、地域の仲間とコミュニティカフェを運営しています。これからは介護の苦勞を分かち合う場所も作っていききたいですね。

これからの働き方・生き方は
ワークライフバランス

こんな働き方・暮らし方
はいかが？

自分らしい「働き方」・「暮らし方」とは
どのようなものでしょうか。
バランスよくいろいろな自分を
楽しみましょう！！

災害ボランティア



20代・男性

平日は仕事と趣味のサッカー。地域の子供もサッカーチームのコーチもしています。長期休暇は被災地に出向き、ボランティアに精を出しています！

特技を仕事に！

子育ての疲れもいやするために
始めたヨガ。ママたちに伝授したい。

介護タクシーで
地域のお年寄りを見守りたい



30代・女性

子育て

特技
(ヨガ)

起業

スキルを活かし、育児の傍ら自宅で子連れOKのヨガ教室を開いています。



50代・男性

仕事
(個人タクシー)

資格取得
(ホームヘルパー)

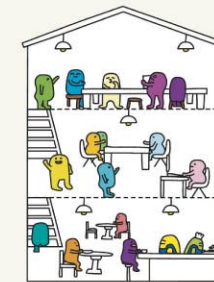
自治会

孫育て

タクシー運転手の経験を活かし、これから介護タクシーを始める予定です。現在ホームヘルパーの資格取得に向けて勉強中です！

新しく事業を始める人たちのファーストステップの場

「コワーキング・スペース」がオープン！



コワーキングとは、国内外のクリエイティブ分野で仕事をする人たちの間で注目され始めた新しい働き方です。それぞれが独立した仕事をしつつ、デスクや打合せスペース等を共有することで協働もしやすくなるのが特徴です。「Coworking Space Hottan (ホットン)」(以下、「Hottan」という)は、12月1日、宇都宮市千波町にグランドオープンしました。Hottanは、まちづくり事業企画等を行う㈱マチツクリ・ラボラトリーが運営しています。主なサービスは、1.コワーキングスペースの提供、2.栃木での新しい働き方を参加者と一緒に考えるトークイベントの企画開催。利用者のスタイルに合わせて月単位と日単位での利用が選べます。

代表の村瀬さんは自身の栃木県内での起業経験から「スタートアップ時点で手軽に利用できるオフィススペースがない」という悩みがあったそうです。Hottanでは場所の提供だけではなく、利用者同士のコミュニケーションを促し、新しいつながりやお互いのスキルの共有も目指しています。



「今は時代が大きく変化している激動期。働くことの価値観や働き方が大きく変わってきています。だからこそ、皆さん一人ひとりが、栃木での新しい働き方を創り出していける拠点としていきたい。」と村瀬さん。厳しい雇用環境を受けて「起業する」という選択も増えている今、つながりを求める新しい働き方が広がっています。

女性と社会貢献に繋がる起業をローリスクで応援！ オフィス&サロン&スクール「3ACT」

宇都宮市南町でオフィスやサロンスペースのシェアをしています。詳しくは、<http://www.three-act.com/>



WWB/ジャパン
(女性のための世界銀行 日本支部)
代表 奥谷 京子

WWBジャパン流の仕事づくり
被災地に仕事×生きがい!
ソーシャルネットワーク
プロジェクト

「何もしない事が辛い」被災地の切実な声からはじまったこのプロジェクト。被災地の女性が編み物製品を製作し、WWBジャパンとその姉妹団体が仲介役となり販売している。編み手の育成やイベントの開催なども積極的に行う。毛糸は全国の200名以上の支援者から頂いたものを使用し、編み手は会津若松や宮古など5市町で合計60名以上になった。今後は売れる製品を編む職人集団として、どこかに就職するのではない「自立型企業」をめざす。

21世紀は女性が社会問題を解決する時代! 今、動くとき!

パーティ 社会起業家養成講座

平成24年 6/16(土) 17(日)
私たちの“なくて困った、あったらいいのに”をカタチに

これまで、全国で1000人以上の起業家を育成された奥谷京子さんを講師に迎え、「社会問題を解決したい!」「自分らしく生きたい!」という想いをカタチにするための方法を実践的に学びました。

■想いをカタチにするためのポイント

①WWB/ジャパン流の社会起業とは、「イイコト」では終わらせないビジネスにすること。

生活価値に
基づく

地域密着

問題解決

②小さく産んで大きく育てる

起業にはあれこれ経費がかかる。そこで、新しいものを購入する以外の選択肢をもつことも必要。アイデアと工夫で、「ひろう」「もらう」「つくる」を実践!

■想いをカタチにするためのステップ

STEP1
ターゲットを
しぼる

「誰でもいい」はダメ。そのサービスに対して誰が意欲をもってお金を払ってくれるのかが大切。情報を自分の足で得て、問題意識を強くもつことが必要。

STEP2
自分の仕様

自分のライフスタイルから自分のできる事と、できない事を分ける(毎日ハムリ、納期のある仕事はハムリなど)。流行を追いすぎず、自分のスタイルを確立。

STEP3
5W1Hを
考える

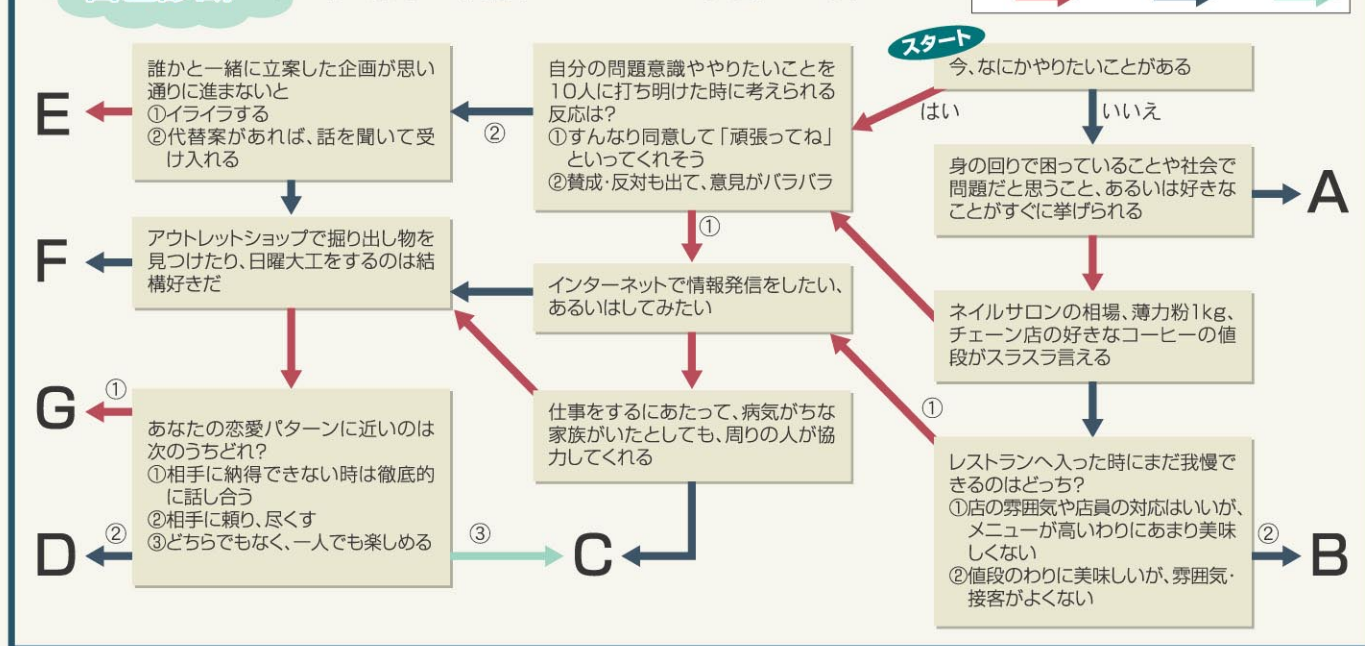
WHAT: 何をしたいのか / WHY: なぜしたいのか
WHEN-WHERE: いつ、どこで / WHO: だれが、だれと
HOW: どうやって利益を出すか

STEP4
起業プランの
作成

今頭の中で考えていることを書きだして、どれくらい具体的にしているかを把握して準備を進める。
(事業名や店名、起業の時期や場所、事業で実現したいこと、提供する商品・サービスの値段や内容 など)

いよいよ事業計画書の作成!

自己診断 社会起業家を目指すアナタに、今何が必要?



診断結果

A: 見聞をひろめよう。まずは情報収集を。 B: 起業イメージを膨らませよう。いつもと違う角度で見よう。
C: 初期投資の少ないISOHOで起業を。 D: 自分の意思を貫いてやりたくない事、見たくない事から逃げないで。
E: 「人持」になろう! 本音で話しあえる仲間を大切に。 F: 資金計画から始めよう! 運転資金、初期費用を確保。
G: 調査しつつ物件選びを! 実際に足を運んで、目で見ると大分。

出典: WWBジャパン



誰もがいきいき暮らすために、社会変革の担い手として、社会の課題を事業(ビジネス)により解決する社会起業家について考えます。ビジネスとして行うことによって、社会的課題の解決と同時に、新たな産業・新たな雇用の創出にもつながっています。事業形態は、株式会社、NPO※、一般社団・財団法人などさまざまです。

社会起業家はたくさんの分野で活躍。例えば、こんな分野でも...

子育て

- “ママの声”を活かして商品企画・開発
- 看護師による“妊産婦を見守り続けるケア”

地域づくり・まちづくり

- 住民と行政の協働で生活路線バスの再生
- 地域に埋もれた資源から“地域ブランドを商品化”

高齢者や障害者の支援

- 買い物代行“お買い物隊”
- 定年退職後のシニアたちが自分の自分のスキル(IT知識など)を活かして就業支援

他にも、たくさん!!

環境、貧困、少子高齢化、介護・福祉、青少年・生涯教育、国際協力...などさまざまな分野で活躍

(*)NPOって?

「NPO(NonProfit Organization)」とは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称です。事業で得た収益は様々な社会貢献活動に充てることになります。

県内の社会起業家を紹介



子育て支援
NPO法人ババママおうえん隊
武田 純子

幼稚園・保育園に勤務しながら3人の子育てを経験。2006年大学に入学し心理学を学びながら、仲間と共に子育てボランティアサークルを立ち上げた。その後、地域の母親達に手伝ってもらいながら活動を広げ、2010年に資金面強化のため、NPO法人設立。

安心して子育てのできる地域づくりを目指して

主な活動は、イベントや子育てサロンで親子一緒に楽しめる触れ合い遊びのステージや、出張託児。多い時は1日3会場まで託児を依頼されることもあり、母親が子どもを預けて講座などに参加できるようサポートしている。また、子育て中の親子と地域の人が集う子育て広場を主催。地域ぐるみの子育てをすすめている。長く継続するコツは、無理をしないこと。出会いを大切にしながら、今できる事を一つ一つ取り組んでいきたい。



未熟児用肌着の企画・製作・販売
Happy Froggy
吉川 由美子

長男を920gの超未熟児として出産。3ヶ月新生児集中治療室で過ごした経験をもつ。長男が4歳になった頃アメリカで出産当時日本になかった未熟児用肌着と出会う。「日本でも紹介したい」という強い思いから、未熟児用肌着の輸入オンラインショップをオープンさせた。

小さな赤ちゃんのお母さんを勇気づけたい!

Happy Froggy.comとは、輸入品の未熟児用肌着に加え、オリジナル商品も取り扱っている。これは、病院の看護師さんの意見も取り入れながら、4年の歳月をかけて自ら研究・製作したもの。点滴をしたまま着脱できる肌着は特許と意匠権、栃木デザイン展で優良デザイン賞を受賞。今後は、医療展示会でのPRのほか、イベントにも積極的に参加する予定。これからママになる人にもぜひ知ってもらいたい。



コミュニティデザイン
studio-L MOTEGI
岡崎 エミ

雑誌編集者を13年経験。編集長も務めた。2009年studio-L代表の山崎亮氏と出会い、「その町の問題は、モノを作るのではなく、そこに住む人々が解決するべき」という考えに共感。雑誌編集者生活に一区切りをつけ、コミュニティデザイナーとしてstudio-L MOTEGIを創設。

人と人を結んで美しく幸せな社会を

studio-Lは地域の課題解決に取り組むコミュニティづくりを応援する会社で、市民と行政の仲介役。茂木事務所ではこれまで、益子町の土祭や真岡市「観光ネットワーク」のコーディネートなどに携わってきた。戦後、公共空間を担ってきた町内会や隣組といった地域型コミュニティが衰退した一方で、阪神淡路大震災を機に、NPOやサークルなどのテーマ型コミュニティが増えている。地域の公共の担い手も地域だけに頼るのではなく、新たに課題解決のために集まった人々でテーマ型コミュニティをつくっていくことで、地域をよくすることができると考えている。

男女共同参画を考える発表や展示



働くことに困難を抱える若者支援の紹介【(社)栃木県若年者支援機構】



グループの未来を考える。活動報告と意見交換。【とちぎつばさの会】



数値に見る県内市町の男女共同参画の状況。【キャンパス】



ワークライフバランス
一介護からみると
【ラ・ポリティクスとちぎ】



男の台所ー焼きそばの販売
【鹿沼アテップ】

くらし・環境問題



生活展「家庭で育むもの」。アイロン
かけ実演。【全国友の会宇都宮支部】



親子で楽しめるコーナー



音の世界遊びーテントの中で音探し
【青ぶどうの会】



自然のもの（石、木のつるなど）を使
って工作 【初茜】

わたしを変える 未来をつくる
フェスタ in パルティ2012を開催しました
11月10日（土）に「わたしを変える 未来をつくる」をテーマに、フェスタinパルティ2012を開催しました。
元気に活動している71の団体・グループが参加し、多彩な企画イベントになりました。
男女共同参画や子育てに関する展示やワークショップ、楽器演奏や踊りのパフォーマンス、手作り品の展示販売など、それぞれの団体が日ごろの活動やチャレンジの成果を発表しました。
11日は公開講座（5ページ）を開催。2日間で約1300人が来場し、様々な世代が集い、交流を深め、元気になるフェスタとなりました。



パルティコーナー



H24年度 男女共同参画セミナー
ステップアップコース参加者による発表



言葉あそび、歌、ダンスの音あそび
【たんばびろば】



民話語り
【美寿々民話宇都宮支部さくら】



フワフワハウス



とちまるくんステージ



「明るく楽しく元気よく」歌とダンス
【日光レディ55】



キーボードとケーナのアンサンブル
【pure rhythm（ピュアリズム）】

とちぎ次世代人材づくり2012

～ 新しい自分に会いに行こう ～

平成24年度「栃木県次世代人材づくり事業」県外研修報告 (10/25～10/27)

人間性豊かで地域に貢献する実践的な青年リーダー及び女性リーダーの育成を目的に、県と市町が共同で実施している「栃木県次世代人材づくり事業」において、今年度は11名が女性リーダーとなるためのスキル習得や地域の課題、県外の取組などについて学んでいます。

県外研修では、宮城県仙台市で開催された「日本女性会議2012仙台」に参加するとともに、グループごとに計画した事例調査で現地の方々にお話を伺いました。今回は、その訪問先での交流の様子について報告します。

◆NPO法人 小牛田セミナー（宮城県美里町）

【訪問日】平成24年10月25日（木）

【訪問人数】6名（栃木なでしこグループ）

【概要】小牛田の地域住民に対して、その知的・文化的ニーズに応える活動とその研究を行うことにより、地域の文化的向上とよりよいまちづくりに資することを目的としている団体

■H24年度活動「子供たちの農業体験」「親子でどろんご大会」「田んぼの中野ジャズ・コンサート」「原発問題に関するセミナー」など

【感想】

私たちが小牛田セミナーの拠点である小牛田ハウス（会員の皆さんで手作りされたというビニールハウス）に到着すると、大きな本格的な窯で焼いた美味しいピザをご馳走して下さいました。そして淹れたてのコーヒーを、やはりセミナーで主催したという教室で焼いた手作りのカップでいただきました。

会員の方々の人との接し方を見ているだけで、この会がいかに人と人との出会いを大切にしているかが分かります。そこには地域をこうしよう！という気負いはなく、ただパズルのピースがあるべき場所にはめられていくかの如く、自然にまちづくりへの道が来ているのでした。

（グループリーダー 福田 万里子）



代表の太平さんと



手作りの交流ハウス

◆小野駅前応急仮設住宅自治会長 武田文子さん（宮城県東松島市）

【訪問日】平成24年10月25日（木）

【訪問人数】5名（とちおとめグループ）

【概要】武田文子さんは、2011年11月に小野駅前応急仮設住宅（80世帯287人）の初代自治会長に就任。住民のリーダーとして積極的に集会所に顔を出し、仮設住宅で暮らす高齢者の方とおしゃべりをしたり、マッサージや料理の会を開いたり、住民が元気になるような試みを行っている。集会所で、女性たちが靴下を利用して手作業で作るおさるさんの人形「おのくん」は、仮設住宅の人々と全国の人々との架け橋となっている。

【感想】

武田さんの笑顔に迎えられ、集会所でお話を伺いました。傍らでは女性たちが「おのくん」人形を作りながら、楽しそうにおしゃべりをされていました。自治会長になったきっかけは割り当てられた仮設が「たまたま集会所の目の前だったから」とおっしゃる武田さんですが、お話の端々から住民への細やかな心遣いがうかがえ、リーダーとしての魅力を感じました。

（グループリーダー 井原 陽子）



仮設住宅のみなさんと



「おのくん」たち

全5回

つなげる！男女共同参画セミナー ステップアップコース ～自分も社会も幸せになる「多縁」計画～



全5回を通して、自分も社会もみんなが幸せになるため、自らが主体的に行動していくための“つなげる方法”を学びました。

① 9/1

こころ、ステップアップ ～自分も社会もハッピーになるために～

講師：宇都宮文星短期大学 教授 山口 哲子

■まずは基礎コースの振り返りから
基礎コースの振り返りやステップアップコースの受講動機などをテーマに、ワールドカフェ（グループワークの手法）で自由に対話し、それぞれの気づきや思いを共有した。



■男女共同参画を推進するために
男女共同参画は“意識の変革”から始まったが、現在は“社会・地域の課題解決のための実践的な取組”にシフトされつつある。中でも、政策・方針過程への女性の参画が大切。



■震災・災害・防災・復興と向き合う中で
福島県在住の山口先生は、福島の現状を発信する地域活動も行っている。「被災者が被災者を支援する小さな活動を継続していくことが、傷ついた心を回復させ、互いの絆を結び直して強化するエンパワメントになる。」という、地域活動をする中での貴重なお話だった。



② 9/8

聴き手を巻き込む ～“わたしプレゼンカ”をみがく5つの法則～

講師：SHINBI主宰 印象戦略家 ちとせ

■印象戦略とは？

自分が持っている価値を正しく相手に伝えるスキルであり、欲しい結果を手に入れるために自分を正しく表現すること。



■“わたしプレゼン”のポイント

第一印象は、表情がすごく大切。目から入ってくる情報は残りやすく、早く入ってくる。同じ言葉を使っても、表情で伝わり方が全く違ってくる。情報の内容よりも、どう伝えていくかということが重要。



■“毎日のプレゼン”に役立つトレーニング

声力・目ヂカラ・表情力などのトレーニングを実践し、毎日に役立つスキルを磨いた。「ラッキー・ミッキー・だいすきー」と発声しながら、口角を上げる練習ができる。



③ 9/29

「つながり」語り合う ～活躍中の先輩に学ぶ「多縁」のチカラ～

【グループゲスト】

①男の生き方を語る会さん



②自分力アップ～和み～さん



【個人ゲスト】

①若林 明子さん



②當麻 恵美さん



■ゲストの発表と交流会

さまざまな形で自分らしく人生を楽しみながら、“自分のできる事”を実践しているゲストの皆さん。活動の発表後、いくつかのグループに分れて、活動のきっかけや継続のコツ、家族の協力などについて、身近な先輩ゲストと意見交換しながら交流した。無理のないつながりの中で魅力たっぷりのゲストの姿に、多くの縁、多くの学びを頂いた。



④ 10/6

夢を叶える ～My・Ourドリームマップ®～

※ドリームマップ®は一般社団法人ドリームマップ普及協会の登録商標です

講師：(株)Woomax取締役/ICP認定コーチ・ドリーム先生 松本 昌子

■ドリームマップとは？

ドリームマップとは、目標に映像をつける（ビジュアル化）目標達成ツール。

■夢を叶えるワン・ツー・スリーの法則

- ①現在の自分を分析する
- ②魅力的な目標を設定する
- ③①②の差を埋める具体的な行動をとる

■ドリームマップのポイント

大事なのは「なりたい自分」を明確にすること。幸せな生活をした！ではなく「自分にとっての幸せ」を明確にすることが大切。キーワードは“自分がわくわくする”“自分もハッピー、周りもハッピーと感じる”こと。

■ドリームマップ作成と発表

材料集めから楽しみながらドリームマップを作成！完成後は、“全ての夢が叶った自分”になりきって発表。教室中が笑い拍手の渦に包まれた。



⑤ 10/13

こころ、つなげる ～多縁・元気社会への行動計画～

講師：宇都宮文星短期大学 教授 山口 哲子

■つなげるとは？

つなげるとは、自分が意識的につなげるという主体的な行動のこと。また、自分の学びは「自己啓発＝自分を成長させること」の一環である。自らが主体的に自己啓発を継続し、少しずつスパイラルアップしていくことが大切だ。



■多縁・元気社会への行動計画

これまでの学びを踏まえて、自分の今後の目標に近い仲間グループになり、5W2H【What（行動）・Why（目的）・When（時期・期間）・Where（場所）・Who（誰と）・How（方法）・How much（費用）】に沿って行動計画を考えた。

■行動計画を発表

講座も今回が最終回。グループや個人で作成した行動計画を全員の前で発表！“積極的なつながり”“パーティへの講座提案”“個人の目標”などに、力となるエールも添えられた。受講生の今後の明るく、とても頼もしく思える、そんな最終回だった。



第4回
9/15

とちぎ女性政策塾

(全8回)より

「話し方」&「女性の政策決定過程への参画」をピックアップ

全8回を通じて審議会等委員に必要な知識やスキルを学ぶ「とちぎ女性政策塾」。

第4回は、審議会などの公式の場にふさわしい「話し方・プレゼンテーション」と「女性の政策決定過程への参画」の現状と課題について、講義とワークを通じて学びました。

am 「話し方・プレゼンテーション」

講師：フリー・アナウンサー 臼井 佳子

■「聞きやすく」話そう！

5m先の人に届けるつもりで発声。マイクの有無に関係なく、はっきり、しっかり声を出し、**声の大きさはマイクの位置で調整**する。

■「組み立てて」話そう！

「自分と同じ人間は一人もない」が大前提。自分は知っているも相手にとっては初めて聞く話。**第一段階「大枠」→第二段階「細かい話」**。本当に伝えたいことの筋道を戦略的に組み立てる。

■インタビュー～「きく」ことは「問い」から～

相手が何を話したかについてを正しく捉える。ポイントは相手の気持ちに「**寄り添う質問**」。具体的な情報を集めると的確な問いができる。



自己紹介、早口言葉、プレゼンテーションなどの実技も盛りだくさんで、緊張感と充実感に溢れた講義に、受講生は大満足だった。

pm 「女性の政策決定過程への参画」

講師：(財)市川房江記念会理事 山口 みつ子

■男女共同参画予算に見る現状

議員や行政に問題提起をする時には、「**国や県の予算に男女共同参画施策がどのように表れたか**」を見る視点が大切！

■国と地方の女性の参画度

日本の女性国会議員比率を2011年の世界ランキングで見ると衆議院122位、参議院35位。**先進国の中では最低レベル**だ。女性地方議員比率は過去最高とはいえ11.2% (2011.12) にとどまっている。

■「女性の活躍促進による経済活性化」行動計画

～働く「なでしこ」大作戦～

「経済活動における女性の参画」の世界的潮流を受け、今年6月に閣僚会議において策定。！男性の意識改革、"思い切ったボジティブ・アクション、#公務員から率先、が3つの柱。「**大事な資源＝女性**」の活用が日本再生の鍵となる！



山口先生からしか伺えない、政治の状況や女性の政治参画の歴史に、受講生は興味津々だった。

8/3(金)
13:30～16:00

デートDVを考える研修会

～デートDVの実態と対応策を学ぶ～

栃木県教育委員会とパルティの共催により、県内高等学校等の教員（人権教育・生徒指導・教育相談担当・養護教諭など）を対象に、デートDVの実態とその対応策について理解を深める研修会を開催しました。

講師：家族相談室・エコーズ



代表 阿部美代子

1 デートDVとは・・・

●DVとデートDVの違い

DV………配偶者や内縁関係などの間で起こる暴力

デートDV…交際の親密な関係にあるカップルの間で起こる暴力

●**暴力の種類**…！ 身体的暴力、" 心理的暴力、# 社会的暴力、\$ 経済的暴力、% 性的暴力、がある。

2 社会の中の暴力

力と支配の関係、性差による偏見(ジェンダーバイアス)、男性優位の社会メディアやサイトからの情報など、社会の中の暴力は私たちの身近な問題になっている。

(例)

力と支配の関係 (支配と服従)

社会的な影響力や経済力などを使って相手を支配して良いという考え方。
学校や職場でのいじめ、パワーハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなど。

性別による偏見 (ジェンダーバイアス)

"男らしさ"、"女らしさ"の偏見。社会的に作られた性差が、男女の上下や性別役割を固定する。そこに暴力の根源がある。

3 家庭相談室・エコーズによる寸劇

デートDVの実態を寸劇に仕立て、より心情的に深く理解しその対応策を学んだ。デートDVは表面化し難く、周囲も気づかないため、被害者は孤立することが少なくない。また、相談先は友人が多いので、支援者として正しい知識を持つ必要がある。被害者を守ることは勿論だが、加害者にならない暴力防止教育を含めた学校での役割は大きい。



親友に相談する被害者



専門機関で「デートDV」に気づく被害者

相談されたら・・・

！安全を確保すること、話を信じて聴くこと、ひとりで対処しないこと
" 正しい情報の提供、保護者との連携、専門機関に繋ぐ、他

～被害者に対して言うてはいけない言葉～

●別れなよ ●愛されている証拠だよ ●殴られるようなことしたんじゃないの？ ●もうその話は聴きたくない、 など

DVの根源は、暴力を容認する社会の構造上の問題にある ⇒ 暴力を許さない社会をつくろう！



SPA・非暴力プログラム講座

safer peaceful action

7月24、25日、TEENSPOT代表、思春期・家族カウンセラーの八巻香織さんを講師に、SPA・非暴力プログラム講座を開催しました。県内各地から、相談員、教員、施設職員、暴力防止活動団体の方などが集まり、たくさんのワークを通して非暴力について学びました。



八巻 講師

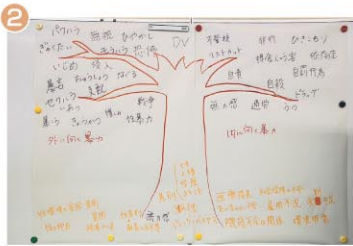
SPDA (Safer Peaceful Action) とは、自分／他人へのいじめ、虐待、DVなどの暴力を避ける、被害者にも加害者にもならない、安全で平和な行動によって社会を創る暴力予防プログラムです（年齢・性別・さまざまな違いをこえて、心と身体が温泉で洗われるような意味をこめて「SPA SPDA」と呼びます）。

本講座では教育や福祉・暴力防止に携わる支援者の方が、暴力の構造や連鎖、希望へのプロセスについて、様々なワークを通して体感しました。傷ついた人のアライ（味方）となり、手を差し伸べ合って、安全な社会を創ることを確認しました。笑いと涙と感動に包まれ、支援者のセルフケアワークに癒され、エンパワーできた一日間でした。

「PEACEの樹をこめる」
安心な場をイメージし、絵に描いて、PEACEの樹を共同製作。平和のイメージを共有することからスタート。

「暴力とは。暴力の樹」

「暴力とは、人間のあるがままの姿を否定し、絶望と無力感へ導くものだ」（キング牧師。外に向く暴力、内に向く暴力、暴力の根っこにあるものを確認）



#ハートの壁
無垢で無防備な赤ちゃんの心が、成長とともに「泣くな」「お兄ちゃんだから」「女だから」...などの言葉に傷つき、心に盾を幾重にも重ね、心を閉ざし、他者と通じ合えない壁となる。自分の心の壁を認め、ほぐしていく。

\$男らしさ・女らしさのBOX
男らしさ・女らしさのトレーニングによって、箱に閉じ込められ、箱からはみ出すと「弱虫」「男ざり」とレッシャーを受ける。

%大人から子どもへ受け継がれるアダルトイズム
親子のロールプレイ。「おまえはダメだ」「何やってるんだ」「子どもの力を信じてない大人の言葉は子どもの心に内在化し、自己信頼を奪う」。

&自分を慈しむ左手を書く
画用紙に左手を型どって切る。自分のアライ（味方）になる言葉やケアの方法をクレヨンで書く。グループになりみんなどの手でオフェシをつくる。



「パワーグループ、パワレスグループ」

パワーグループ（大人、男性、先進国、雇用者、健常者...）からパワレスグループ（子ども、女性、途上国、労働者、障害者...）への暴力や抑圧は、報復や、仲間同士や自分自身への暴力を生み出す。

（アライ（味方）の右手）
パワーグループからパワレスグループに手をさしのべることが「アライ」になる。アライの右手をつくる。右手を型どり、自分ができる力になれることを書く。

）様々な暴力への対応
グループに分かれ、学校、家族、地域、職場で起こる暴力を想定し、よくある転落と希望の姿へのプロセスを劇にする。

*暴力の連鎖と希望の光

貧困・性差別・格差...の輪の中で、DV・虐待・いじめ・自殺...が連鎖して増長している。希望は輪の外の私たちのアライの手。暴力の渦中にある人は希望を描けなくなる。私たちが一緒に希望へのプロセスを考え、連鎖の糸を断ち切り、平和を創り出す。



● 参加者の声～アンケートから～ ●

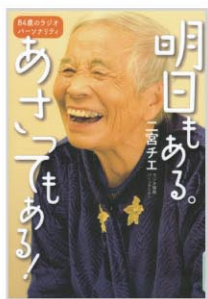
- 体を動かし、絵を描き、皆と意見をシェアし、「暴力とは何か、予防するには？」が体感できた。「内に向けられた暴力」「アダルトイズム」など、身近で起きていたけど認識しなかった暴力についても学べた。
- 平和をつくるのは自分自身であることを改めて感じ、これから、勇気とコミュニケーションで、希望をつなげていきたい。
- もやもやとして知りたかったことをズバリ学べた。男らしさ・女らしさのBOXなど、「社会的に見る、固有のものではない」など、大きく目が開かされ、次のステージが開いた。
- 学びをこれからどう実行するのだが、すぐ解決しようとあせらないで、という言葉ももらえた。次の世代...5つ先の世代にまで届く試みをシェアしていきたい。
- どうにもできない無力感にとらわれていたが、ノンパワーグループから変わることができることを知った。少しでもいいから頑張っていきたい。
- 何よりも自分自身が癒された。関わり方、力の入れ加減を知ることができた。
- とても有意義で、今後も継続開催を。職場の他の心理職にもぜひ参加を勧めたい。

パルティ 情報ライブラリーから

本の紹介

明日もある。あさってもある！

二宮チエ 著／イースト・プレス



ラジオ福島で16年間もパーソナリティをつとめてきた84歳の超元気で底抜けに明るいおばあさん。彼女の笑い声と素朴な福島弁のおしゃべりが、昨年の東北大地震で被災した人々を勇気づけてきた。父親と17歳から始めた行商について、そしてパーソナリティに抜擢されるまでを綴りながら、老後を楽しく生きる10カ条を提案する。

子育てが終わらない

小島貴子、斎藤環 著／青土社

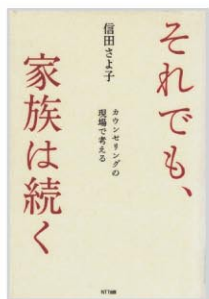


子どもが中高年になっても「子どもは子ども」。そんな親子関係で本当に大丈夫？ ひきこもりの高齢化問題も深刻化するこの国で、これからの家族はどうあるべきか？ 正しい「親のやめかた」を、第一線で活躍するキャリアカウンセラーと精神科医が徹底討論。

パルティには約20,000冊の図書があり、ホームページからも検索・予約ができます。ぜひご利用ください。
<http://www.parti.jp/>

それでも、家族は続く

信田さよ子 著／NTT出版



日本経済の減速や社会の変容は、この国の家族の問題に大きな変化をもたらした。母娘関係、依存症…いま、日本の家族に何が起きているのか？ その対処法とは？ 日本のカウンセラーの草分け的存在として、さまざまな家族の悩みに向き合い続けてきた著者による、家族問題・カウンセリング論の集大成。

社会起業家スタートブック

百世瑛衣乎 著／亜紀書房



就職氷河期、派遣、リストラ、ブラック企業等々、いま、仕事には夢がない。ならば自分で仕事をつくろう。社会の問題を解決して、持続可能なビジネスにする。「いいコトしたい」を仕事に変えるのだ。お金のこと、事業デザイン、組織づくりなど、新しい「働き方」のための実践ガイド。

ちいき情報 県内で活躍中のひと・グループの紹介です。



とちぎつばさの会芳賀支部は子どもの豊かでバランスのとれた人権感覚育成の一環として、平成24年度小学4、5、6年生と中学生を対象に「ジェンダー川柳コンクール」を実施しています。それに伴い男女共同参画を楽しく理解できるよう、またジェンダー問題を自分の生活や生き方と重ね合わせて身近に感じてもらうような出前講座を学童保育で行っています。内容は「紙芝居」と「ジェンダーでつながる」の二本立てです。

オリジナル紙芝居「白雪姫の自立」は一人の人間として自立するために森に修業に出た白雪姫の奮闘を描いています。「ジェンダーでつながる」は子どもにも理解できるジェンダーについて、児童生徒向けのメニューを増やして学校や学童保育への働きかけをしたいと考えています。

(とちぎつばさの会芳賀支部 小山 佳子)

男女共同参画を
自分と重ね合わせて

身近に感じて
学童保育に出前講座

とちぎつばさの会芳賀支部



配偶者暴力防止法DV防止法が制定されて約11年、配偶者からの暴力「デートDV」も社会問題として取り上げられています。とちぎ男女共同参画センターでは、中学生、高校生、大学生へデートDVの理解や正しい知識を持つていただけるよう、学校に出向き講義を行うなど啓発にも力を入れています。

また相談ルームにおいては、デートDVによる電話相談の他、面接相談も受け付けています。女性本人からの相談もありますが、家族、親族、教育関係者からの相談も寄せられています。「娘が交際相手から暴力を受けている」「生徒間のデートDVがわかり、どう対応したらよいのか。」等の相談があります。そのような時、まずは本人の気持ちを聞く事が最も重要なことです。直接本人から相談してもらえようとお伝えしています。ただデートDVは本人がDVだと自覚することが難しいことが多く、なかなか専門機関には繋がりにくい現状もあります。もし、家族や教師など周りの方が、デートDVに巻き込まれている本人の相談を受けたり、「すぐに別れなさい。」等の指示や否定をせず、まずは本人の気持ちをよく聴くことが大切です。本人が、

少しでも二人の関係に「これっておかしい」と気づくことが出来れば、支援者と信頼関係を築きつつ、専門機関への相談に繋がるのではないかと思います。

本人が、交際中の関係に何か疑問を感じ始めて相談されてくる事もあります。「なぜ私だけがこんな辛い目に合うのだろう・・・」と思いつつも「オレを怒らせるのはお前が悪いから」と言い続けられたため「私が悪い」と思い込み、自分を責めてしまつ方もいらっしゃいます。しかし、暴力はどんな理由があつても絶対に許されるものではありません。力で相手を思い通りにさせる行為は許されません。

本来一人一人に存在価値があり、それぞれが尊重されて生きていく権利があります。

相談ルームでは、「自分」という宝物を大切に、自信を持って歩み続けることができるよう支援しています。

○女性のための一般相談

電話 月曜日～日曜日 9時～16時
面接 火曜日～日曜日 9時～16時

(面接は要予約)

○女性のための配偶者暴力相談

電話 月曜日～金曜日 9時～20時
土曜日・日曜日 9時～16時
面接 火曜日～日曜日 9時～16時

(面接は要予約)

○女性のための健康相談

毎月 第一木曜日 16時30分～18時30分
(予約制)

☎028-6665-8720

○男性のための電話相談

毎月 第一・第三水曜日
17時30分～19時30分

☎028-6665-8724

※祝日・年末年始はお休みとなります。

こんにちは就職相談です ーキャリアプランを考えるー



あなたはいつまで働きたいですか？

「仕事したい」ととき、いつまで働くか考えていますか？

せっかくつまって仕事を探しているときは、当面の仕事を考えることを優先しますが、少し落ちついた「自分はどのくらい働き方をしたいのか、いくつまで働きたいか」「どう生きたいのか、いくつまで生きるか」を考えましよう。

長い目で自分の人生を見て、仕事の準備をしていくと、まわりに翻弄されたり、ハローワークで、不安ばかりをぶくらませることが少なくなります。

現役で長く働くためには、働きたい年齢(自分にとっての定年)まで、働く能力を高め続け、さらに新しい能力を開発させていく必要があります。自分の持っている過去の高い技術や能力にしがみついているばかりでは、まわりから受け入れられません。必要な資格をとり、必要な能力を身につけ自己啓発をしながら能力をアップさせていく。55歳でも65歳でもしっかりと働きさらにそこにやりがいい、生きがいの、働きたいをもてるということです。

資格について

かつては一つの資格で一生涯生きていけました。今はそういう時代ではありません。資格をとったら、その資格をフルに活用し、また新しい資格の勉強をしながら、ステップアップを目指すーそういう時代になっています。

収入のすべてを生活にまわすのではなく、自己啓発のお金を用意しておくことも必要です。

学ぶ場所はたくさんあります。学ぶのに年齢制限はありません。自己投資してください。ものやお金は失いますが、学んだことやキャリアは全部自分のものです。ただし、さびないようにメンテナンスしなければ、いざというとき使えなくなります。

充実した人生を送るために準備を

これからは少子高齢化社会になるといわれます。高齢者や女性の労働力も今以上に必要になると思います。ただし、能力のある人が必要とされ、能力がない人は必要とされません。その差はこれまでよりもっとシビアになると思います。自分のやりたい分野で、自分が納得できる働き方をし、社会の役にたつ仕事がしたいですね。

あなたの人生が心豊かで、幸せな日々であるとはだれも保障してくれません。充実した人生を送るためには、自分で準備をすることが必要です。

●電話相談 ●面接相談(予約優先)

○毎週 火曜日 水曜日 木曜日
9時～12時 13時～16時

☎028-6665-8724

(留守番電話の場合は028-6665-8663まで)



平成24年度 講座のご案内

☺がついている講座は一時保育（1歳から未就学児）あり

お申し込み・お問い合わせは

パルティ まで

電話・FAX・ホームページ・直接来館にて

携帯電話での
申込みはこちら



1の講座

TEL 028-665-7706

FAX 028-665-7722

2～5の講座

TEL 028-665-8323

FAX 028-665-8325

URL <http://www.parti.jp/>

パルティ

検索

1 男女共同参画&協働の視点で考える防災講演会

災害をのりきるには、ふだんから男女共同参画と協働を進めることが大切です。
3.11後をふりかえり、これからの災害対策について、みんなで考えます。

●開講日・テーマ・講師

1/29(火)

「みんなで考える、これからの防災・減災・まちづくり～なぜ女性の視点が必要か」

東日本大震災の発災後、避難所の女性たちの洗濯代行ボランティア「せんたくネット」を立ち上げるなど、被災女性のニーズを掘り起こし、支援活動を続けている宗片恵美子さんに現地からの報告と災害への備えについてお話しいただきます。



講師：特定非営利活動法人イコールネット仙台 代表理事 宗片恵美子

●時 間 13:30～15:30

●対 象 どなたでも

(防災・男女共同参画・協働担当行政職員、NPOや団体の方、県民の方)

●定 員 100名

●受 講 料 無料

●申 込 締 切 1/18(金)

●保育申込締切 1/8(火)

2 メディアリテラシー講座

もう情報に惑わされない！TV、映画、雑誌、マンガ、インターネットetc…。メディアに左右されない、真実を見抜く目を養いましょう。

●開講日・テーマ・講師

1/26(土) メディアとうまく付き合う方法

～ホントにその情報は正しいの？～

メディアジャーナリスト 渡辺 真由子

●時 間 13:30～15:30

●対 象 どなたでも

●定 員 30名

●受 講 料 無料

●申込締切 1/25(金)

●保育締切 1/4(金)

※メディアリテラシーとは、「メディアの特質、手法、影響を批判的に読み解く」能力と、「メディアを使って表現する」能力の複合をいう。



3 男のライフバランスを考える講座(全2回)

男性のためのセルフ・パワーアップ講座

～これからの人生を自分らしく生きる！～

●開講日・テーマ・講師

①2/ 9(土) ストレスマネジメント講座

～ストレスと上手につきあうコツ～

アイ・こころのクリニック 院長 原 隆

②2/16(土) 男の手料理術 ～カラダに優しい食育ミニ講座～

(有)オーベルジュ オーナーシェフ 音羽 和紀

●時 間 ①14:00～16:00 ②10:00～12:30

●対 象 男性

●定 員 30名

●受 講 料 無料(“のみ別途材料費2,000円がかかります)

●申込締切 1/31(木)

●保育締切 1/15(火)

4 就職準備相談会

キャリアアドバイザーによる個別指導で、きめ細やかな対応ができます。

●開講日・テーマ・講師

①1/26(土) 適職探し相談会・応募書類の書き方相談会

②1/27(日) 社会人のマナー・面接体験相談会

進行：パルティ キャリアアドバイザー

●時 間 いずれも10:00～15:00

●対 象 就職準備中の女性

●定 員 10名程度

●受 講 料 無料

●申込締切 各開催日前日

●保育締切 いずれも1/5(土)

※この講座は、雇用保険受給対象の講座とみなされます。雇用保険受給資格者証をご持参ください。

※1歳未満のお子さんの一時保育はありませんが、同伴での受講は可能です。(詳細はお問い合わせください。)

5 不妊・流産に悩む人のグループ相談会

●開講日・テーマ・講師

①1/19(土) 二人目以降の不妊に悩む女性

②2/21(木) 治療をやめた女性とやめようか悩んでいる女性

進行：不妊専門相談センター相談員

●時 間 13:30～15:30

●対 象 不妊・流産に関連した悩みを持つ女性

●定 員 10名程度

●受 講 料 無料

●申込締切 開催日前日

※お申し込みは栃木県不妊専門相談センターまでお願いします。

TEL 028-665-8099

火曜日～土曜日

10:00～12:30、13:30～16:00



栃木県から

とちぎ次世代人材づくり2012 ～新しい自分に会いに行こう！～ 研修成果発表会

人間性豊かで地域に貢献する実践的な青年リーダー及び女性リーダーを目指して研修してきた成果を発表します。

- ◆開催日 平成25年2月2日(土)
13:30～15:30
- ◆場 所 パルティ とちぎ男女共同参画センター
パルティホール(入場無料)
- ◆内 容 テーマ別研修発表
- ◆お問い合わせ先
栃木県青少年男女共同参画課
☎028(623)3074

鹿沼市から

ホップ de ジャンプ

第1部「とちぎ次世代人材づくり2012」参加報告
第2部「無縁社会と終章」を生きる
講 師：宇都宮大学生涯学習教育研究センター
廣瀬隆人 教授

- ◆開催日 平成25年1月31日(木)
13:30～15:30
- ◆場 所 鹿沼市民情報センター
- ◆申 込 1月23日(水)まで
- ◆お問い合わせ先
鹿沼市人権推進課
☎0289(63)8352

大田原市から

大田原市民の海外研修報告会 並びに男女共同参画講演会

1. 平成24年度大田原市民の海外研修派遣団員による報告会
テーマ：「手を取りあって ～新たなあゆみ～」
※今年度から男性をも含めた海外研修として再スタートした大田原市民の海外研修は、「世界一幸福な国デンマーク」を訪問しました。8名の団員の研修成果をぜひご覧ください。
2. 男女共同参画講演会
講師：元NHKエグゼクティブアナウンサー
村上信夫氏
演題：「おやじの腕まくり」
※NHKテレビ、ラジオなどで活躍された村上信夫氏をお迎えし、男性の視点からの男女共同参画を語っていただきます。

- ◆開催日 平成25年1月26日(土)
13:00～15:50(12:30開場)
- ◆場 所 大田原市総合文化会館ホール
- ◆定 員 390名
- ◆入場料 無料(要申込)
- ◆申 込 1月21日まで
- ◆お問い合わせ先
大田原市政策推進課市民協働係
☎0287(23)8701

日光市から

平成24年度 男女共同参画社会づくりフォーラム in 日光

- 講師：室井佑月氏(作家)
- ◆開催日 平成25年3月16日(土)
 - ◆場 所 日光市今市文化会館
 - ◆お問い合わせ先
日光市人権・男女共同参画課
☎0288(21)5148

表紙作者 よしこSUN

パルティ とちぎ男女共同参画センター

- ☆開館時間 9:00～21:00(日曜日は17:00まで)
- ☆休館日 ・国民の祝日
・毎週月曜日
・12月29日～1月3日
- ☆施設の利用 会議・イベント等にご利用ください。(有料)
- ☆利用申込み 受付時間 9:00～17:00
ホームページで各研修室等の貸出利用状況がご覧になれます。
詳しくは、電話にてお問い合わせ下さい。

情報誌のご意見・ご感想をお寄せください。

- 編集・発行/公益財団法人とちぎ男女共同参画財団
〒320-0071 宇都宮市野沢町4番地1 TEL 028-665-7700 FAX 028-665-7722
URL <http://www.parti.jp/>
- 印刷/株式会社 井上総合印刷

